

鳩山首相辞任



鳩山首相と会談するため幹事長室を出る小沢一郎幹事長=1日、国会内、河合博司撮影



首相官邸に入る鳩山由紀夫首相=2日午前8時44分、首相官邸、川村直子撮影

鳩山首相は、公開で行われた両院議員総会の中で、「引かせていただきたい」と表明。辞任の理由として、普天間移設問題を挙げ「普天間問題では、（移設先に決めた）沖縄県や鹿児島県・徳之島のみなさんにご迷惑をかけた。社民党にも連立政権離脱という厳しい思いをさせたことを残念に思う」とも述べた。また、自らの政治資金管理団体の政治と力の問題を挙げ、「議員のみなさんには迷惑をかけた。クリーンな民主党を作り上げていこうではありませんか」と述べ、政治と力の問題も辞任の背景にあったことを明らかにした。

鳩山由紀夫首相は2日前に開かれた民主党の両院議員総会で辞任を表明した。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設問題を巡り、社民党が連立政権を離脱。7月の参院選での選挙協力に亀裂が入り、参院民主党を中心、「このままでは参院選が戦えない」といった辞任要求が噴出。内閣支持率も10%台に落ち込み、首相はこれ以上の政権運営は不可能だと判断した。同時に、民主党の小沢一郎幹事長にも辞任を促し、了承を得たことも明らかにした。

小沢幹事長も辞任